

とよかわ



- 市議会の構成決まる！ p 2
- 総額1,030億円超の新年度予算可決！ p 4
- 代表・一般質問で23人が市政を問う！ p 7
- 1月から3月の委員会報告！ p 15

新しい市議会の構成が決まりました。

5月12日に開催された臨時市議会において、議長を始め、新しいスタッフが選出されました。

就任あいさつ

このたび、議員各位のご
推挙をいただき、引き続
き、議長の重責を担うこと
になりました。

現在、本市では、新市民
病院建設など、多くの重要
課題を抱えており、市議会
としては、その責務を果た
すためにも、さらに開かれ
た議会、活性化した議会を
目指し努力しなければなり
ません。

また、行政とも切磋琢磨
することで、よりよい豊川
市を実現していきたいと考
えています。

今後とも市議会に対し、
一層のご支援とご協力を
お願い申し上げます。



議長
滝下 充生

本会議の議席

議長
演壇

石原 山本 堀部 松下 質問席 足立 野本 安間 深井
小林琢 岩倉 小林洋 波多野文 塚越 太田 柳田 榊原 牧野 佐藤
大野 藤原 鈴木 美馬 中村 野中 今泉 井川 富田 二村
坂本 米谷 鈴川 川上 西川 高橋 波多野年 井上 牧田 大嶽
滝下 石畔



議会選出監査委員
牧田千枝子



副議長
中村 直己

会 派

■緑風会（12人）

松下 広和、堀部 賢一、山本 和美、石原 政明
岩倉 一夫、小林 琢生、藤原 宏樹、大野 良彦
米谷 俊子、坂本松次郎、石畔 八良、滝下 充生

■とよかわ未来（11人）

野本 逸郎、足立 直一、榊原 洋二、柳田 通夫
太田 直人、塚越恒次郎、今泉 淳乙、野中 泰志
中村 直己、高橋 智之、西川 米子

■自民党豊川市議団（6人）

波多野文男、小林 洋一、美馬ゆきえ、鈴木 義章
川上 陽子、鈴川 智彦

■市民フォーラム豊川（5人）

牧野 敏雄、二村 良子、富田 潤、大嶽 理恵
牧田千枝子

■公明党市議団（3人）

井川 郁恵、井上 和也、波多野 年

■日本共産党豊川市議団（3人）

深井 徳美、安間 寛子、佐藤 郁恵

議会選出役員

議会運営委員会

議会運営委員会は、議長の諮問的な機関であり、
議会運営全般にわたって、舵取りする機関です。

その構成は、各会派の議員数に応じて選出され、
委員定数は条例により、9人と定められています。

委員長 大野 良彦
副委員長 今泉 淳乙
委員 佐藤 郁恵、牧野 敏雄、野中 泰志
美馬ゆきえ、藤原 宏樹、井上 和也
石畔 八良

政治倫理審査会

委員長 小林 琢生
副委員長 太田 直人
委員 深井 徳美、堀部 賢一、塚越恒次郎
波多野文男、富田 潤、藤原 宏樹
波多野 年

新市民病院建設調査特別委員会

委員長 大野 良彦
副委員長 今泉 淳乙
委員 石原 政明、佐藤 郁恵、柳田 通夫
太田 直人、岩倉 一夫、二村 良子
井川 郁恵、鈴木 義章、牧田千枝子
高橋 智之、西川 米子、川上 陽子
鈴川 智彦、米谷 俊子、石畔 八良

常任委員会

行政の複雑多岐化、専門化の傾向に対して、議案の審査及び調査に万全を期すため、市の事務に関する調査及び議案、陳情等の審査を行う常設の委員会

◎委員長・○副委員長

健康福祉委員会



坂本松次郎、安間 寛子、川上 陽子、大野 良彦、今泉 淳乙、松下 広和、中村 直巳、◎西川 米子、○井川 郁恵、牧田千枝子

所管

- 健康福祉部 福祉課、子ども課、介護高齢課、保険年金課、保健センター
- 市民病院 庶務課、医事課、医療情報課、診療部門、看護部門ほか

総務委員会



高橋 智之、足立 直一、佐藤 郁恵、堀部 賢一、二村 良子、鈴木 義章、鈴木 智彦、◎山本 和美、○塚越恒次郎、滝下 充生

所管

- 企画部 秘書課、人事課、企画政策課、情報システム課
- 総務部 行政課、財政課、管財契約課、市民税課、収納課、資産税課
- 企業立地推進部 企業立地推進課
- 他の委員会の所管に属さない事項

建設消防委員会



米谷 俊子、波多野 年、野中 泰志、小林 琢生、太田 直人、富田 潤、波多野文男、◎柳田 通夫、○岩倉 一夫、大嶽 理恵

所管

- 建設部 道路維持課、道路建設課、公園緑地課、建築課、都市計画課、区画整理課、豊川駅東区画整理課、一宮地区建設課
- 上下水道部 下水管理課、下水整備課、水道業務課、水道整備課
- 消防本部 総務課、予防課、防災対策課、通信指令課、消防署

経済文教委員会



牧野 敏雄、小林 洋一、井上 和也、野本 逸郎、深井 徳美、藤原 宏樹、石畔 八良、◎石原 政明、○榎原 洋二、美馬ゆきえ

所管

- 市民部 市民課、生活活性課、地域安心課、文化振興課、国際課
- 経済環境部 農務課、商工観光課、環境課、清掃事業課
- 教育委員会 庶務課、学校教育課、生涯学習課、市民体育課、学校給食課、中央図書館

本会議の状況

3月定例会では、22年度予算の17議案のほか、21年度補正予算を始めとした34議案及び諮問1件が提出され、また、議員発議2件がありました。

5月臨時会では、市税条例の一部改正を始めとした議案が提出され、議長、副議長、常任委員等の改選が行われました。

平成22年度各会計別予算額の状況

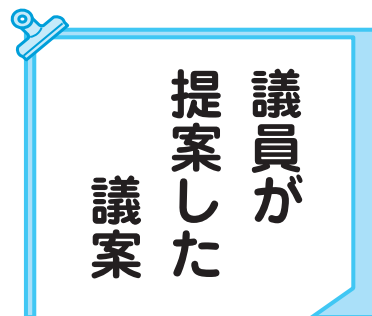
(単位:万円、%)

会 計 名	平成22年度当初	対前年比	平成21年度当初
一 般 会 計	524億5,000	117.5	446億3,000
特 別 会 計	341億8,590	112.1	304億9,590
豊川西部土地区画整理事業	9億4,520	103.8	9億1,060
豊川駅東土地区画整理事業	7億2,400	81.8	8億8,510
公 共 下 水 道 事 業	53億9,890	89.0	60億6,920
農 業 集 落 排 水 事 業	9,280	98.2	9,450
公 共 駐 車 場 事 業	6,890	41.5	1億6,610
国 民 健 康 保 険	159億8,690	121.2	131億9,430
後 期 高 齢 者 医 療	17億3,970	130.8	13億3,020
老 人 保 健	180	5.3	3,380
介 護 保 険	88億1,450	119.7	73億6,180
土 地 取 得	3億9,200	91.4	4億2,900
一 宮 財 産 区 管 理 事 業	310	119.2	260
赤 坂 財 産 区 管 理 事 業	200	111.1	180
長 沢 財 産 区 管 理 事 業	390	92.9	420
萩 財 産 区 管 理 事 業	1,220	96.1	1,270
企 業 会 計	164億3,035	103.6	158億6,522
水 道	48億9,624	112.6	43億4,899
病 院	115億3,411	100.2	115億1,623
合 計	1,030億6,625	113.3	909億9,112

◎一般会計補正予算
(第8号)
21年度一般会計歳入歳出予算の総額に歳入歳出、それぞれ2億4千235万4千円の追加。

・平尾東公園(仮称)整備工事費として、算の総額に歳入歳出、
21年度国民健康保険特別会計歳入歳出予算(第5号)
◎国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
3千350万円。
・6小学校で行う太陽光パネル設置事業費として、9千610万円。
原案可決

◎豊橋市、豊川市及び新城市消防通信指令事務協議会規約の変更
22年4月1日から蒲郡市が加入し、4市により、消防通信指令業務を共同運用する。
原案可決



◆市議会委員会条例の一部改正

市の組織機構改革に伴い、常任委員会の所管及び名称を変更する。
主な内容

・「生活文教委員会」を「経済文教委員会」に、「建設委員会」を「建設消防委員会」に改める。
原案可決

◆議会の権限に属する
事項中市長の専決処分
事項の指定

害賠償の額の決定及び
和解。

議会の権限に属する
事項について、市長の
専決処分事項として2
件、指定する。

②議会の議決を経て
締結した工事または製
造の請負契約について
の変更契約締結（契約
額の100分の5の額、1
千万円を超える場合は、
1千万円以内の額）。

①1件100万円以内
の市の義務に属する損

景気の悪化、増税や公共料金の値上げ等で、
生活が成り立たない市民が増加しており、市独
自の取り組みは薄い。また、合併によるしわ寄せ
を受けている旧町民の願いは切り捨てられ、
大企業の言いなりともいえる大型開発、公共事
業優先の予算と言わざるを得ず、反対する。

22年度一般会計予算に反対！

主な討論

22年度
一般会計予算

22年度一般会計予算に賛成！

本予算は、広域的な道路網の整備など、合
併後のまちづくりへの重点配分、デジタル同報
系防災行政無線整備、保育料の引き下げ、新
市民病院建設など、市民目線に立った安全・安
心、活力を感じる施策の展開、また、積極予算
と財政の健全化の両立などの点から、時代の潮
流を的確にとらえた予算と評価し、賛成する。



議決状況の一覧

■3月定例会 ○賛成 ×反対

緑風一緑風会（12） 未来一とよかわ未来（11） 自民一自民党豊川市議団（6） 市民一市民フォーラム豊川（5）
公明一公明党市議団（3） 共産一日本共産党豊川市議団（3） ※（ ）内は所属人数

議 案 名	議 決 結 果	会 派 別 賛 否 状 況					
		緑 風	未 来	自 民	市 民	公 明	共 産
12 22年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	×
13 22年度豊川西部土地区画整理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×
14 22年度豊川駅東土地区画整理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×
15 22年度公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
16 22年度農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
17 22年度公共駐車場事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
18 22年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×
19 22年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×
20 22年度老人保健特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
21 22年度介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
22 22年度土地取得特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
23 22年度一宮財産区管理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
24 22年度赤坂財産区管理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
25 22年度長沢財産区管理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
26 22年度萩財産区管理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
27 22年度水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
28 22年度病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
29 21年度一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○
30 21年度豊川西部土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○
31 21年度公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○

議 案 名	議 決 結 果	会 派 別 賛 否 状 況					
		緑 風	未 来	自 民	市 民	公 明	共 産
32 21年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○
33 21年度在宅介護支援事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○
34 21年度土地取得特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○
35 21年度水道事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○
36 職員定数条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×
37 市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の額並びにその支給に関する条例及び市長等の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
38 特別職の職員で非常勤のものの報酬額及び費用弁償額並びにその支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
39 教育長の給与等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
40 職員給与条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
41 職員退職手当支給条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
42 在宅介護支援事業特別会計設置に関する条例の廃止	可決	○	○	○	○	○	○
43 保育所条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
44 児童遊園条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
45 稲荷北デイサービスセンター条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
46 子ども医療費支給条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
47 休日夜間急病診療所条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
48 廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	棄権
49 空き缶等のごみの散乱の防止に関する条例の全部改正	可決	○	○	○	○	○	棄権
50 公共用物の管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×
51 道路占用料等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×
52 準用河川流水占用料等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×
53 漁港管理条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×
54 病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
55 消防団条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
56 企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく工場立地法の特例措置に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	×
57 児童遊園に係る指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○
58 市道路線の廃止	可決	○	○	○	○	○	○
59 市道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○
60 豊橋市、豊川市及び新城市消防通信指令事務協議会規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○
61 愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○
62 訴えの提起	可決	○	○	○	○	○	○
諮問1 人権擁護委員候補者の推薦	異議ない	○	○	○	○	○	○
議発1 市議会委員会条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
議発2 議会の権限に属する事項中市長の専決処分事項の指定	可決	○	○	○	○	○	○

■5月臨時会 ○賛成 ×反対

緑風—緑風会(12) 未来—とよかわ未来(11) 自民—自民党豊川市議団(6) 市民—市民フォーラム豊川(5)

公明—公明党市議団(3) 共産—日本共産党豊川市議団(3) ※ () 内は所属人数

議 案 名	議 決 結 果	会 派 別 賛 否 状 況					
		緑 風	未 来	自 民	市 民	公 明	共 産
63 市税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×
64 救助工作車の取得	可決	○	○	○	○	○	○
同意1 固定資産評価員の選任同意	同意	○	○	○	○	○	○
同意2 監査委員の選任同意	同意	○	○	○	○	○	○

市政を問う!代表・一般質問

大野 良彦	「平成22年度施政方針と予算大綱」
高橋 智之	「国の予算編成方針と本市新年度予算への影響」「平成22年度予算の重点施策」「新年度予算による地方債残高への影響」
	「新年度予算における、とよかわ未来の要望事項の予算への反映状況」「新年度における市民病院の取り組み」
	「新年度における教育委員会の取り組み」「新年度における人事行政・施策」
鈴木 義章	「平成22年度施政方針並びに予算案大綱説明」
牧野 敏雄	「市民フォーラム豊川の予算要望の施策への反映と考え方」「地方財政のマネジメントの考え方」「地方交付税の考え方」
	「合併に伴う総合計画の今後の見通しと、経営視点から見た総合計画支援ツール（行革大綱）の今後の方針」
井上 和也	「平成22年度施政方針及び予算案」
佐藤 郁恵	「財政計画に関わって」「景気対策、暮らしを支える施策等」「大型公共事業に係る市費負担軽減の考え方」
	「諏訪地区の活性化」「合併効果の創出と、地域の特性を生かした住み続けられるまち」
美馬ゆきえ	「大木地区工業用地開発計画」「合併後のまちづくり」「市街化区域の整備」「大木区画整理事業」「地域公共交通」
石原 政明	「豊川市中心市街地活性化」
小林 洋一	「地球温暖化対策に係る今後の計画」「地震対策事業の耐震診断及び改修」
井川 郁恵	「脳脊髄液減少症」「女性特有のがん対策」「障がい福祉」
柳田 通夫	「人事労務政策」
岩倉 一夫	「労働者派遣制度の在り方」「緑のリサイクルセンター」
川上 陽子	「新市民病院建設に伴う八幡地区周辺のまちづくり構想」「児童館整備と次世代育成」
太田 直人	「住宅密集地での火災などの災害対応」「住宅密集地での生活道路の拡幅」
波多野文男	「御津地区の港湾施設の整備状況と今後の予定」
富田 潤	「父親に対する子育て支援」
深井 徳美	「巡回バス（コミュニティバス）等の検討」「合併により失われた、旧小坂井町の子育て支援事業の復活を」
安岡 寛子	「子ども医療費無料化制度拡大と確立」「豊川市民病院の産科体制の充実に向けて」「政治家にとって公約とは何か」
二村 良子	「ゴミ収集、焼却にかかる費用の現状と削減対策」「し尿処理業務委託を自前でやれないか」
	「新工エネルギー、再生可能なエネルギーに対して、この地域でも多様な活動が想定されるので、対応は」
小林 琢生	「手取山公園（仮称）と周辺整備」
梶原 洋二	「障害が疑われる子供達の支援」
大嶽 理恵	「小中学生の教育における学校と地域の連携」「安心して子どもを産むことができる体制整備」
	「子育てのしやすい環境整備」「市民主体の行政運営」
藤原 宏樹	「観光施策」

代表質問

22年度当初予算編成での留意点は？

緑風会代表 大野 良彦

【問】 22年度当初予算の編成での留意点は？

【答】 合併完了で、新市スタートの予算とした。また、新市民病院建設など、将来の財政負担を見据えた予算とし、市債残高の減少に努める。

【問】 市長マニフェス

トの進捗は。
【答】 新市民病院は、23年度当初には着工、25年5月連休明けの開院を目指す。子ども医療費の拡大は小6までとし、今後は財政状況により、23年度予算で判断。陸上競技場改修は、22、23年度の2

新年度予算における重点事項は？

とよかわ未来代表 高橋 智之

【問】 新年度予算における重点事項は？

【答】 小6までの医療費無料化拡大等の子育て支援対策、旧豊川市域への防災行政無線整備等の防災対策、太陽光発電システム設置費補助等の地球環境対策、また、小坂井地区の一

力年で完成。御油松並木の迂回路は、マニフェストどおり23年度に工事を行う。

【問】 市域一体化、均衡ある発展の取組みは？

【答】 全35事業で約20億2千万円の規模で取り組む。

【問】 新年度経済対策は？

【答】 経済の活性化と雇用の創出を目指し、事業実施には、切れ目のない財政出動を図る。

新病院での①バースセンター開設に向け努力していく。

【問】 学校教育における重点取り組みは？

【答】 子供たちの確かな学力の育成、いじめ、不登校等への指導体制の充実、家庭や地域との連携事業に取り組む。長岡市との交流を通じて地域の歴史学習にも取り組みたい。

①バースセンター

原則、医療介入をせずに、助産師が付き添い、お母さんとおなかの赤ちゃんのペースに合わせて、自由なスタイルで自然なお産をする施設。

市長の、22年度当初予算に対する 評価と財政健全化の考えは？

自民党豊川市議団代表 鈴木義章

【問】市長の、22年度当初予算に対する評価と財政健全化の考えは。

【答】合併のスケール

メリットや事務の効率化による重要課題への財源配分に努めた結果、全会計での総額が1千億円台となり、適正な予算規模と認識。また、

自主自立の財政運営の確立を目指し、財政運営の効率化と財政秩序の適正化に努める。

【問】新年度の財政健全化への取り組みは。

【答】歳入面では、自主財源確保のための組織機構改革など。歳出面では、人件費の削減

市民フォーラム豊川の予算要望の 反映への考え方は？

市民フォーラム豊川代表 牧野敏雄

【問】市民フォーラム豊川の予算要望の反映への考え方は。

【答】子育て支援、市民と行政の協働のまちづくり、持続可能なまちづくりの3つの視点を念頭に編成している。

【問】地方財政マネジメントの考え方は。

【問】本市における地方交付税の考え方は。

やファシリティマネジメント^②の導入などを行う。市債においては、

借入額を元金償還額以内とし、地方債残高を減少させていく。

今後、取り組み方針を新年度の早いうちに公表する。

【問】自民党豊川市議団要望事項の当初予算への反映状況は。

【答】24項目中22項目、92%を反映した。

【答】地方債活用では、貴重な財源との考えから安定的な制度改正を望む。22年度は、交付団体となる見込み。

【問】総合計画見直しの考えは。

【答】事業成果の目標指標との関連性の公表を視野に、事業実施の明確化に努める。外部評価を導入の方向で検討していきたい。

今後の公債費及び市債残高の推移は？

公明党市議団代表 井上和也

【問】今後の公債費及び市債残高の推移は。

【答】公債費の試算では、22年度73億円余を計上するが、その後、徐々に減少し、30年度には55億円程度に減る見込み。市債残高は、

21年度末現在高見込額642億円余だが、30年度末には470億円程度に減る見込み。

【問】市税の減収に対する財源手当てと自主財源比率の動向は。

【答】地方交付税措置及び臨時財政対策債発

行と、歳出面の見直しにより財源を確保した。

自主財源比率は61・4%で、20年度決算数値より10%強下がる。

【問】本市が都市間競争に勝ち残っていく、そして豊川市に住みたいと思われるような計画づくりをすべきと思うが、考えは。

【答】市民意識調査の満足度を尺度に策定する総合計画をしっかりとやっていくことで、住みよいまちにしていく。

②ファシリティマネジメント
設備・資源や空間などを、最も合理的、かつ効率的に管理し運用するための経営手法のこと。

値上げされる国保料について、 抑制の努力はしたのか？

日本共産党豊川市議団代表 佐藤郁恵

【問】 値上げされる国保料について、抑制の努力はしたのか。

【答】 前年度より繰入金を1億7千万円ほど増額し、値上げ幅の抑制に努めた。

【問】 設備投資が低調な時期に企業用地開発を行う理由は。

大木地区企業立地の現在の状況と 今後の見通しは？

美馬 ゆきえ

【問】 大木地区企業立地の現在の状況と今後の見通しは。

【答】 地権者総会を行うなど、同意のお願いを続けており、3月末までに全ての同意を得られるよう努力している。

【問】 一宮地区におい

活用するなどし、喜ばれる競技場としたい。

【問】 合併は住民に対して痛みを与える。市の言う合併効果の創出とは具体的に何なのか。

【答】 将来に向かって住み続けられるまちにするため、合併により人件費などの経費削減を行い、行財政基盤の強化、持続可能な行政経営を行うものである。

化できるように努力する。

【問】 地域公共交通についての市の考え方は。

【答】 公共交通基本計画を策定するために行ったアンケート調査の結果から、みんなで支える公共ネットワークづくりを柱として、地域特性や需要を考慮した交通システムの採用を検討していく。

豊川市開発ビル株式会社の 経営状況と経営方針は？

石原 政明

【問】 豊川市開発ビル株式会社の経営状況と経営方針は。

【答】 経営状況は、経費削減等により黒字経営を確保している。経営方針は、魅力的で集客が見込める店舗開発、経営成績の一層の向上及び堅実な財政運営に努めることである。

【問】 アピタ・ユニー撤退の経緯は。

【答】 現契約である22年10月末までに、豊川市開発ビルから撤退する方針を決定したもの

である。

【問】 諏訪地区活性化の取り組みは。

【答】 都市計画及び建築の専門家に委嘱したプロジェクトチームから提言いただいた構想では、「集いの広場の街づくり」というコンセプトから、諏訪地区の活性化、にぎわいの創出の発現が期待できるとされ、市としても状況を注意深く見守りながら、必要な支援をしていきたい。

住宅用太陽光発電システムの推進と目標は？

小林 洋一

【問】住宅用太陽光発電システムの推進と目標は。

【答】小、中学校の協力により取り組んでいく予定であり、環境学習としてふさわしく、学習効果が期待できる。一般家庭へは、適切なアドバイスができるよう、情報の把握や提供に努める。

【問】民間木造住宅耐

乳がん等検診の「無料クーポン券」による受診率向上への対応は？

井川 郁恵

【問】乳がん、子宮頸がん検診の「無料クーポン券」による受診率向上への対応は。

【答】受診率向上に向け、ほかのがん検診と同様な期間を設定するなど、利用しやすいようにし、周知を図っていく。

震診断及び改修についての問題点と今後の進め方は。

【答】耐震診断の申し込み件数は減少しており、耐震改修の申し込み件数も減少している。工事費がかかることなどが、実績が上がらない要因の一つと考えている。一層の周知を図っていくことを考えている。

から身体障害者手帳の交付対象となった。22年4月1日から手帳が交付される。

【問】手話通訳等嘱託員が設置されるが、どのようなものか。

【答】福祉課に手話通訳士を設置するもので、窓口に来られた方々の各種手続きの支援、相談に対応し、聴覚障害者の支援を図る。

目標管理制度導入に向けての準備状況は？

柳田 通夫

【問】本年4月からの目標管理制度導入に向けての準備状況は。

【問】人事異動が激しいと感じるが、異動の基準や考え方は。

【答】旧小坂井町職員も含め全庁的に導入する。考課者訓練も実施済み。PDCAサイクルを十分機能させる。

【答】採用後10年位は幅広い知識・経験習得のため、管理・窓口・事業の3分野を経験させる。管理職は、適性や能力、機構改革の中で行う。

【問】昇任基準を明確にする中で、昇任試験を導入する考えは。

【問】各部署の年度方針や目標を、市民に公開する考えは。

【答】有用性は認めるが、現在の総合的、多面的な人物評価などで、職員の適正や能力の評価は十分可能であるし、公平性も確保している。

【答】行政と市民の距離を近づける効果が期待できる。内容や表現に留意して検討する。

市内の中小企業への支援策は？

岩倉 一夫

【問】労働者派遣法改正は労働者保護に力点がある。社員の直接雇用による負担を軽減するため、市内の中小企業への支援策は。

【答】信用保証料補助の拡充等の継続や、販路を拡大するための経費助成を実施する。

【問】緑のリサイクルセンター候補地の決定の経緯は。

【答】1万5千平方メートル以上で、かつ市で所有している土地を検討し、千両町の数谷原住宅跡地を候補地とした。

【問】千両に迷惑施設が集中し過ぎていると

の声がある。地元の合意を得るための対応は。

【答】地元住民の方に大きな負担をお願いすることになる。住環境をよくする振興策、残地利用について地元の要望に配慮すること、施設内では環境学習等を実施するという提案をした。一緒に先進地も視察し、理解を深め、合意形成を図りたい。

篠束野口沿線の商業地として

発展性は？

川上 陽子

【問】篠束野口沿線の商業地として発展性は。

【答】民間主導だが、新市民病院の関連店舗の立地が見込める。

【問】市民病院立地に伴う交通安全対策の内容と見通しは。

【答】野口平尾線右折帯は、姫街道4車線化

整備とあわせ、開院までに設置したい。八幡地区内のカラー舗装は22年度中に実施する。

国道1号線の白鳥の立体交差は22年度末に開通予定とのこと。

【問】はちなん児童館の整備計画は。

【答】23年度末の開館

を予定している。

【問】開館後、地元サークルは利用可能か。

【答】施設の一部を独占しての利用はできない。協働して事業を企画、実施してほしい。

【問】児童クラブと子ども教室との連携は。

【答】日程的には連携は難しい。事業内容の調整は必要だが、連携を深めたい。

住宅密集地での消防体制で配慮していることは？

太田 直人

【問】住宅密集地での消防体制で配慮していることは。

【答】隣棟への延焼防止活動を行うため、増強部隊として2次出動隊を同時または速やかに出動する体制をとる。

【問】密集地に対する準備の状況は。

【答】通常の消防水利、道路状況の調査、点検のほか、個別に警防計画を策定し、図上訓練・消防訓練を実施している。

【問】住宅密集地であ

る中条地区などの道路拡幅の方策は。

【答】建物建築時の道路後退、土地区画整理事業、町内要望の道路拡幅事業が考えられる。

【問】町内要望での道路拡幅事業の方策は。

【答】現場の状況、土地所有者の全員の同意取得等を考慮し、事業採択している。

【問】道路拡幅に係る町内会の負担はあるか。

【答】町内会に費用負担は生じない。

御津1区に整備中の港湾施設の概要は？

波多野 文男

【問】御津1区に整備中の港湾施設の概要は。

【答】県事業で埠頭の水深5.5メートル、2千トンクラスの貨物船が接岸できる港湾施設。23年度完成目標で、24年度から建物の整備が始まる。

【問】市としての埠頭の活用方法は。

【答】海上輸送事業者、物流事業者以案内、働きかけを行い、埠頭を活用した物流全体を効率的に運営するモデルを示していく。

【問】埠頭と隣接した緑地の計画内容は。

【答】緑地3.3畧は、港湾労働者の休息地、港

湾環境保全のために整備され、広場や散策路なども整備される予定。

【問】御津臨海部開発とともに、三河港地域一帯の産業振興にどう取り組んでいくのか。

【答】三河港を中心とした地元自治体・経済界・県が連携して、アナウンスや、港周辺の交通アクセス改善に取り組んでいく。

父子手帳配布の現状と効果は？

富田 潤

【問】父子手帳配布の現状と効果は。

【答】配布は妊娠届時に、母子健康手帳と一緒に渡している。配布開始以来、パパママ教室への父親の参加が増えた。父子手帳配布の効果かどうかは特定できないが、近年の父親

の育児参加の一つのあらわれと考えている。

【問】父親向け子育て支援事業の取り組みは。

【答】仲間づくりへの手助けなどが課題であると考え、子育て支援事業を進めている関係部署と連携を深め、各講座、教室の開催に支

援を図っていく。

【問】職員への育児休業制度の取り組みは。

【答】5日以上の休暇計画の作成を求めることや、必要に応じて応援体制や業務分担の見直しを行うなど、4つの取り組みを積極的に進め、子育てしやすい職場環境を整備し、仕事とのより一層の両立を図っていききたい。

公共交通について、計画段階からの市民参加と小坂井地区での取り組みは？

深井 徳美

【問】公共交通について、計画段階からの市民参加の方針と小坂井地区での取り組みは。

【答】アンケート調査や会議への住民代表の参加、中学校単位の意見交換会を実施。小坂井地区でも同様に、意見の収集を図っていく。

【問】合併で廃止された小坂井地区のちびっ子広場復活の考えは。

【答】区長会などから正式に要望があれば精査したいが、現時点では厳しいと考える。

【問】小坂井地区で行っていた保健事業を、小坂井支所の空きスペースを活用するなどして復活できないか。

【答】合併協議の中で保健センターを廃止した。復活の考えはない。

【問】延長保育料を無料にする考えは。

【答】利用者負担の見地から負担願いたい。

【問】中学3年までの医療費無料化の実現は。

【答】23年度までに無料化拡大を判断したい。

子ども医療費無料化拡大を早急に 進めるべきではないか？

安間 寛子

【問】市民の暮らしが苦しくなっている今こそ、子ども医療費無料化拡大を早急に進めるべきではないか。

【答】今の財政状況を考慮し、来年度中学1年までの無料化を、マニフェスト工程計画どおりにできなかった。

【問】子ども医療費無料化に際し、一部負担を検討している意図は。

【答】無料化できない場合の代替措置として研究するもので、前向きに捉えてほしい。

【問】4月からの市民病院でのお産の体制は。

【答】常時、医師3名

他市からのごみを受け入れ、 手数料収入を得てはどうか？

二村 良子

【問】他市からのごみを受け入れ、手数料収入を得てはどうか。

【答】災害等の緊急時の例外はあるが、市町村区域内での処理が原則である。

【問】ごみ焼却について、1炉を停めて経費削減できないか。

【答】市民の生活様式は変わらない。また、資源がごみとなつてし

【答】ストーカ炉の灰を溶融炉に投入しており、1炉を停めるとごみ処理が停滞する。

【問】資源ごみ回収を人口密度等にに応じて、隔週にする考えは。

【答】市民の生活様式は変わらない。また、資源がごみとなつてし

体制だが、1名が3月末で退職するため、後任の医師が5月に着任するまでの間、2名体制となり、救急の受け入れが難しくなる。

【問】市長は公約・マニフェストを計画どおり実現すべきで、変更などはあつてはならないと考えるがいかがか。

【答】4年の任期終了時に判断してほしい。

もう可能性もあり、週1回を継続する。

【問】委託している、し尿処理業務を市直営で運営できないか。

【答】専門職員の育成などの人事面で対応が難しい。

【問】風力発電など新エネルギー施設建設への対応は。

【答】ガイドライン策定など、検討していく。

手取山公園整備の現状と 今後の予定は？

小林 琢生

【問】手取山公園整備の現状と今後の予定は。

【答】計画全体面積7畝のうち、本宮の湯北側の4.8畝を整備中。

22年度末に供用を開始する。

【問】公園の維持管理とソフト事業の予定は。

【答】地元を含めた指定管理か、地域外のボランティアによる管理かを検討する。地形を生かしたマレットゴルフ場を整備する。

【問】老朽化が進む本宮の湯の整備方針と、

集客のための施策は。

【答】修繕計画を立てて修繕を行う。施設内の食堂等の魅力を高め、集客に努める。

【問】駐車場の有効利用のため、誘導看板等の整備の考えは。

【答】誘導看板設置は検討する。駐車ラインの補修も行っていく。

【問】本宮山一帯の観光施策は。

【答】スローツーリズムに適地であるため、観光協会と研究する。

⑤スローツーリズム

個人や小グループを対象に、時間に縛られず、ゆっくりと、地域の人々や自然と触れ合う旅行をすること。

④マレットゴルフ

スティック（マレット）とボールを使って、決められた打ち出し地点からホールへ、できるだけ少ない打数で入れることを競うスポーツ。

障害の疑いのある子の早期発見、専門機関との連携の現状は？

榊原 洋二

【問】 障害の疑いのある子の早期発見、専門機関との連携の現状は。

ため、市で言語聴覚士などを雇用しては。

【答】 医療機関での乳幼児期の健診、保健センターでの集団健診を実施し、早期発見に努めている。

【答】 医療機関で主治医の指示のもと、訓練を行った方がよいと考え、市での雇用は考えていない。

【問】 難聴や歩行・言葉のおくれのある子の

【問】 障害者自立支援法のもとでの子供へのサービス内容は。

学校運営協議会に期待する役割と現状、課題は？

大嶽 理恵

【問】 学校運営協議会に期待する役割と現状、課題は。

【答】 校区住民の「おらが学校」の意識を学校運営に生かし、開かれた学校を目指したい。学校の課題や実情を理解してもらうとともに、地域の力の活用を目指す

す。実施した成果として、学校支援ボランティアや地域の実働部隊が生まれ、教育活動の成果が上がった。学校運営協議会が発足して2年。さらなる組織の強化、活動内容の充実には、もう少し時間を要すると考える。

新サイン整備計画の内容は？

藤原 宏樹

【問】 策定中の新サイン整備計画の内容は。

に移設する考えは。

【答】 22年度から5カ年でサインを設置する。管理計画も盛り込む。

【答】 将来的には移設を検討する必要がある。

【問】 観光に対するサイン整備の取り組みは。

【問】 新豊川市の観光指針となる計画策定の考えは。

【答】 ガイドサイン整備を計画していく。

【答】 観光協会の観光まちづくりビジョンと連携し、市の観光振興計画として発展させる。

【問】 インターネットによる観光PR策は。

【問】 観光事業の課題や今後の取り組みは。

【答】 観光協会ホームページと地域ポータルサイトの拡充、活用を図る。

【答】 観光事業の課題や今後の取り組みは。

【問】 松並木資料館を、整備中の松並木公園内

【答】 市全体の観光施設の整備計画がない。観光大使の任命や体験型観光の検討を行う。

ここに掲載した代表・一般質問の内容は、抜粋したものです。豊川市ホームページの「市議会ホームページ」で公開する会議録（6月上旬公開）が、インターネット録画中継（現在公開中）をご覧ください。



委員会などの開催状況

平成22年1月から平成22年3月までの開催分

1月20日	各派代表者会議	2月23日	議会運営委員会
1月20日	各派交渉会	2月26日	予算説明会
1月21日	議会改革研究会小委員会	3月5日	各派交渉会
1月27日	議会運営委員会	3月5日	議会運営委員会
1月28日	議会だより編集委員会	3月8日	新市民病院建設調査特別委員会
1月29日	各派交渉会	3月10日	総務委員会
1月29日	議会運営委員会	3月10日	健康福祉委員会
1月29日	生活文教委員会	3月11日	生活文教委員会
2月2日	議会だより編集委員会	3月11日	建設委員会
2月8日	総務委員会	3月15日	予算特別委員会
2月12日	健康福祉委員会	3月16日	予算特別委員会
2月12日	議会改革研究会	3月17日	予算特別委員会
2月15日	各派代表者会議	3月18日	予算特別委員会
2月15日	各派交渉会	3月19日	議会協議会
2月15日	議会運営委員会	3月23日	議会運営委員会
2月15日	議会協議会	3月23日	各派交渉会
2月22日	各派交渉会	3月23日	議会だより編集委員会

主な委員会などの内容

◎総務委員会

2月8日

3件の所管事務調査を行いました。

①総合計画実施計画に位置づけられた事業の推進に必要な予算や人員を確保するため、行政改革を推進する計画（22年度から24年度）の内容、②新公会計制度に基づき、財務諸表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）の作成・公表が求められているため、20年度決算により作成された4表の内容、③消防の現勢や、消防の広域連携の現状と課題について、調査を行いました。

3月10日

定例会中に開催し、付託された8議案の審査を行いました。

①4月1日から、職

員の総数を1千837人から1千809人と28人の減員を行う議案、②

工業専用地域の対象区域において、工場立地法に基づく緑地面積率、環境施設面積率を、それぞれ10パーセント緩和する条例制定議案の2議案については、採決の結果、賛成多数で、可決しました。その他、議員の報酬、市長等の給与について減額する議案を始め、6件の議案については、全員一致で、可決しました。

◎健康福祉委員会

2月12日

2件の所管事務調査を行いました。

①市長マニフェストに掲げた、保育料の年間総額1千万円の引き下げを受けて、4月1日から、保育料を引き下げること、②18年度に施行された、障害者自立支援法におけるサ

ービス利用について、本市における具体的なモデルケースの提示を受けながらの現状の把握について、調査を行いました。

3月10日

定例会中に開催し、付託された7議案の審査と、2件の所管事務調査を行いました。

①一宮地区保育所で自園調理を開始するに当たり、国の基準に適合させるため、分園の位置づけを明確にする議案、②児童の福祉の増進を図るため、新たに明野ちびっ子広場を設置する議案、③稲荷北デイサービスセンターの利用日に土曜日及び年末年始を除いた祝日を加える議案、④子ども医療費の支給に
関し、4月1日から入院費用の支給を中学1年生までに拡大する議案と、その他3件の全議案については、全員

一致で、可決しました。

所管事務調査では、

①21年度に策定した市民病院改革プランを
確実かつ計画的に進めるため策定した、実施計画の内容、②市民病院庶務課にグループ制を導入することについて、調査を行いました。

◎生活文教委員会

1月29日

3件の所管事務調査を行いました。

①市民一人一人が食生活を直し、健康で心豊かな人間性を育む



食育推進計画

食育を、市民とともに推進するため策定する

食育推進計画の内容、
②21年4月から施行の環境基本条例に基づき、環境の保全・創造の取り組みを総合的かつ計画的に推進するため策定する環境基本計画の内容、③生涯スポーツ社会の実現のため市民2人に1人の、週1回以上のスポーツ実施率を5割にすることを目指すことなどを定めたスポーツ振興計画の内容について、調査を行いました。

3月11日

定例会中に開催し、付託された2議案の審査を行いました。

①ごみステーションに排出された資源の抜き取り行為を禁止し、違反者には過料を科す議案、②ごみのポイ捨てや、飼い犬猫のふんの放置を禁止し、違反者には過料を科す議案については、全員一致で、可決しました。

◎建設委員会

3月11日

定例会中に開催し、付託された6議案の審査を行いました。

近年の地価の大幅な下落に伴い、占用料の算定基礎となる固定資産税評価額も引き下げられており、国、県においても適正な使用料に改めていることを受けて、①道路法に基づかない道路、市長が指定する水路など、公共

用物の占用料を減額する議案、②道路法の規定に基づく道路の占用料を減額する議案、③準用河川の占用料を減額する議案、④漁港の占用料を減額する議案については、採決の結果、賛成多数で、可決しました。

⑤明野町内会で組織された明野ちびっ子広場運営委員会に、明野ちびっ子広場の管理を任意指定する議案、⑥市営住宅の不法占有者に対し、住宅の明け渡し、不法占有による損害金などの請求を裁判所に提起する議案については、全員一致で、可決しました。

◎予算特別委員会

3月15日から18日

定例会中に開催し、付託された、22年度予算に関する17議案の審査を行いました。

一般会計、豊川西部

- 土地区画整理事業特別会計、豊川駅東土地区画整理事業特別会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の5議案については、採決の結果、賛成多数で、可決し、その他12件の議案については、全員一致で、可決しました。
-
- ◎新市民病院建設調査特別委員会
3月8日
新市民病院における基本設計骨子の内容について、調査を行いました。
- 主な内容
 - ・災害時等に、敷地内の平面駐車場の一部をヘリポートとして利用する。
 - ・立体駐車場800台、平面駐車場400台の、約1千200台分の駐車場を確保する。
 - ・病院建物は9階建てとし、主に、1階は



プリオビル

救急部門、2階は外来・健診部門、3階は手術部門・管理事務部門、4階は精神科病棟、5階は呼吸器内科・循環器内科病棟、6階は産科・小児病棟、7階は泌尿器病棟、8階は外科・消化器内科病棟、9階は婦人科・女性・整形外科病棟を始めとする配置を予定。

-
- ◎議会協議会
3月19日
豊川市開発ビル（プリオI・プリオII）のリニューアル計画について、代表取締役専務櫻井氏、取締役笠原氏より説明がありました。
- 主な内容
 - ・キーテナントであるアピタ撤退後、11月

議会運営委員会行政視察報告

- ・1月13日(水)
島根県松江市 議会活性化の取り組み
- ・1月14日(木)
島根県浜田市 議会改革検討委員会の設置
議員提案による政策的条例の制定
常任委員会の複数所属制の導入
- ・1月15日(金)
島根県出雲市 議員提案による政策的条例の制定

市民に開かれた議会の推進を図っていくことを目指し、松江市では、市民と議員が、市政全般についての情報及び意見の交換をする議会報告会等の開催に努めるなどを盛り込んだ議会基本条例を、平成20年12月に制定しているなど、各市とも、議会改革に取り組む本市議会にとって大変参考となる視察内容でした。

- ・下旬を目標に、リニューアルオープンしたいこと。
- ・食品スーパーを確保するために、立体駐車場1階部分の改装により、平面駐車場を確保したいこと。
- ・プリオIを、専門大
- ・テナント賃料の確保により、ビル経営の視点に立ち、経営の強化を図ること。
- ・型店を核とした複合商業施設に、プリオIIを滞留できるアミューズメントストアとしたいこと。

次回の定例市議会（平成22年第2回定例会）

◆会期日程予定

6月10日(木)	開 会	13時30分	6月21日(月)	中 日	13時30分
6月15日(火)	一般質問	10時	6月23日(水)	常任委員会	10時
6月16日(水)	一般質問	10時	6月24日(木)	常任委員会	10時
6月17日(木)	一般質問	10時	6月28日(月)	最 終 日	13時30分

インターネットで本会議の様子をライブ（生）、録画で配信します。

豊川市ホームページ内の「市議会ホームページ」をご覧ください。

日程は変更になることもありますので、詳しくは議会事務局（TEL89-2150）へお問い合わせください。

議会だより編集委員会

◎委員長 ○副委員長



小林 洋一、安間 寛子、井川 郁恵、松下 広和
滝下 充生、◎太田 直人、○二村 良子、中村 直巳

編集後記

新緑が美しい過ごしい季節となりました。平成22年度の議会人事の改選により、議長を始め新しい市議会の構成が決まり、新年度がスタートしました。

読みやすい紙面で、
多くの議会情報を発信
してまいりますので、
ご期待ください。

編集委員長 太田直人

廣告

財源確保のため、有料広告を掲載しています。広告の内容に関する問い合わせは直接広告主へ。



ワイ!ワイ! ポイントカード 会員大募集!!

JAひまわりの事業利用でポイントを貯めて、
値引きや商品交換にしよう!
入会のお手続きは、J Aひまわり各店舗まで!
(グリーンセンター・Aコープ・金融店舗など)




Wai! Wai!
Point Card

ひと・夢 いいね。

JAひまわり

お問
合せ先

本店 企画課 豊川市諏訪1-1
☎85・3171

JAひまわり

検索

住宅ローン、各種ローンのご相談・年金相談・資産活用等のご相談

かわしん本店 休日相談プラザ
営業日／土曜・日曜・祝日 AM10:00～PM5:00

八南支店 日曜相談プラザ
営業日／日曜日 AM10:00～PM5:00

詳しくは窓口または休日相談プラザ予約窓口へ
(お問い合わせ先) 0120-18-9808

豊かな暮らしのお手伝い

 **豊川信用金庫**

表紙写真 豊川進雄(すさのお)神社夏まつり。この祭で奉納される「綱火(つなび)」は、県の無形民俗文化財に指定されています。今年の祭の開催期間は、7月16日(金)から18日(日)の予定です。

表紙写真を一般募集しています。詳しくは議会事務局まで。